

科目名 地域企業マネジメント特論演習(二) (4単位)

担当者氏名 長澤 真史、黒瀧 秀久

◆学習・教育目標

環境調和型産業や地域企業のあり方を明治しうる基礎的能力の習得をめざし、既存の文献や関連資料の整理・解説を中心に演習を行う。とくに、オホーツク地域を事例とし、地域産業の環境調和型産業への転換を念頭において、環境マネジメントシステムや環境ビジネスモデルの提言も行う。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

環境調和型産業	地域産業	環境ビジネス	コミュニティ・ビジネス
アメニティ・ビジネス	企業マネジメント	環境マネジメント	自治体・協同組合

◆授業の進行等について（単位制度に基づく授業の進行予定・内容）

回数	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1-7回	わが国における地域ビジネスの動向分析 (担当 黒瀧秀久)	①環境ビジネス ②コミュニティ・ビジネス ③アメニティ・ビジネス	地域経済と農林水産業について、基本的理解を得ること。
8-15回	マネジメント論に関する研究動向 (担当 黒瀧秀久)	①企業マネジメントに関する研究動向 ②環境マネジメントに関する研究動向	関連する先行研究をサーベイを行う。
16-22回	オホーツク地域の分析 (担当 長澤真史)	①関連資料の収集・整理 ②データの分析 ③分析結果の発表	資料・データの分析能力を養う。
23-30回	オホーツク地域の実態調査 (担当 長澤真史)	①アメニティ・ビジネスの調査 ②行政へのヒアリング ③提言書の作成	実態調査をもとに提言書を作成する。

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

『地域ブランドと地域経済』／佐々木純一郎他著／同友館(2008年)

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

『環境ビジネス白書』各年版／日本ビジネス開発

◆評価の方法（レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト）

提言書にて評価する。

◆その他受講上の注意事項
